

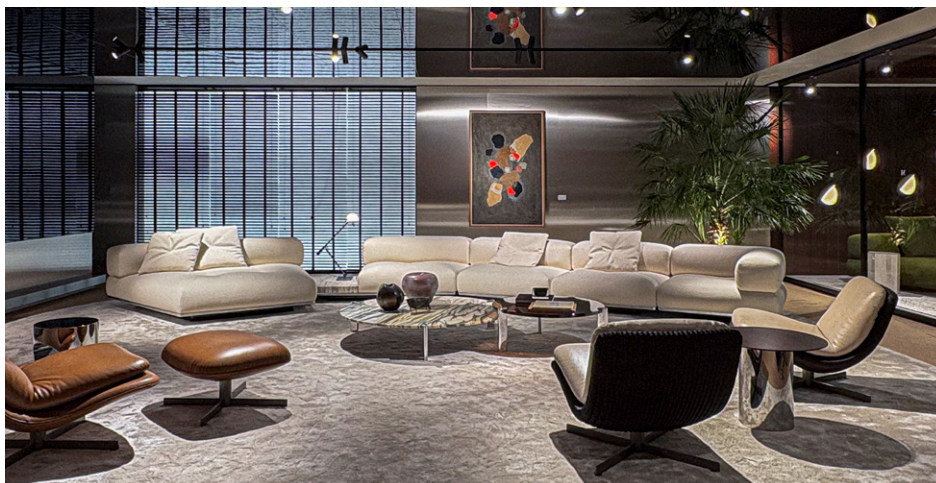


Minotti 2026 collection

MILANO SALONE 21-26 APRIL 2026

1990年代「抑制された知性」と1970年代「感性豊かな芸術性」の融合

Minotti 2026 Collection は、1970年代の「感性の豊かさ」と1990年代の「抑制された知性」を現代の視点で見事に融合させたコレクションです。4500㎡の会場では、過去の遺産を未来のアイデンティティへと昇華させ、重層的な素材使いと建築的ディテールによる濃密な空間が展開されました。デザインの核となるのは、プロポーションの精度と人間味のある表現の共鳴です。メタルやグロスラッカーの反射面と、コンクリートやベルベットといった吸収面のコントラストが現代的な緊張感を生み出し、大胆なアクセントカラーが空間にエネルギーを注入しています。このビジョンを具現化したのは、Giampiero Tagliaferri、GamFratesi、Hannes Peer、Marcio Kogan、Nendo、Inoda+Sveje たちトップデザイナー陣。彼らの多様な感性は一つのスタイルへと統合され、時間を超えて価値を持ち続ける、品格ある空間を提案しています。



ORION オリオン

D = ジャンピエロ・タリアフェッリ

洗練された官能性をもつシーティングシステム「ORION」。ジョン・ロートナーの建築にオマージュを捧げ、自律的なマイクロアーキテクチャーとしてのモジュールが設計されました。

1990年代のデザイン思想を反映した幾何学的な台形フォルムは、星座を彷彿とさせる抽象的なパターンを描き出し、直線的かつ多角的なモジュール（長方形、正方形、台形）の幅広いラインナップが、空間に進化し続ける風景を生み出します。中心に向かって収束するステッチを施したゆったりとしたシートクッションは、柔らかく沈み込むような極上の座り心地を実現。フレームはクローム仕上げ、ブラックコーヒーク仕上げのメタル、あるいはレザー張りから選択可能です。



Minotti
TOKYO | KOBE



RUFFLE ラッフル

D = ガムフラテーシ

ゆったりとしたプロポーションが生む心地よさと、柔らかなボリューム感。RUFFLEは、ソファを優美な布で包み込んだような独創的な構造と、端正なデザインが完璧なバランスで共存するシーティングシステムです。一体型のモノブロックシートは、身体を深く自然に受け入れる快適さをもたらし、わずかに傾斜した台形断面の背もたれが、座る人を優雅に支えます。

最大の特徴は、自由でインフォーマルな個性を描き出すそのフォルムにあります。メモリーフォームを内蔵したスライス状のファブリックが、パッド入りの「ペア・バンド」として構造体を包み込み、その輪郭をなぞることで、終わりなきリズムが生まれました。

卓越したクラフトマンシップは、背もたれと座面を縦方向に貫く精密なステッチに凝縮され、規則正しく並ぶ垂直のバンドが張り地に秩序を与え、空間に強い個性を放ちます。また「オフセット」バージョンでは、背もたれを側面に延長し、木製のオープンコンパートメントを内蔵。利便性と建築的な美しさを融合させています。



SOFTCASE ソフトケース

D = ハンネス・ピール

リビング空間を再定義する「建築的システム」として構想された SOFTCASE。緻密に計算され、互いに呼応し合う構成要素が、このプロダクトに際立ったキャラクターを与えています。

デザインの核となるのは、背面を形づくる「成形されたシェル」。中心を貫く垂直のシーム(継ぎ目)が端正なアクセントとなり、完璧なプロポーションを強調。さらにソフトシリコンを用いた独創的な水平のグラフィック・ディテールが、視覚的なリズムと、心地よさを増幅させる官能的な手触りのコントラストを生み出しています。

内部構造には、今回のコレクションで唯一グースダウンを採用。シングルブロックのシートで構成されたこのシステムは、形式的な厳格さと包み込まれるような卓越した快適さを高次元で融合させました。

足元にはブラッシュ仕上げを施したアルミニウムの細いフレームが、パッドの下部をなぞるように配され、繊細なディテールが厚重なボリュームを軽やかに浮かせることで洗練された表情をもたらしています。





ATLAS Giampiero Tagliaferri

SYSTEMS Collection

Minotti は、あらゆる次元で空間を横断する包括的な提案により、居住環境の新たな定義に貢献してきました。

デスク、書棚、ストレージユニットにおいて、建築的な輪郭、素材の連続性と奥行きを再現する豊かなボリューム、そして精緻なディテール。これらがリビング、ダイニング、ホームオフィス向けの洗練されたソリューションを導き出し、調和のとれた一つの全体像を作り上げています。

ジャンピエロ・タリアフェリとマルシオ・コガン / Studio MK27 のビジョンから生まれた「Atlas」「Doheny」「Diagramma Wood」「Passarella」といった各プロジェクトは、「展示」から「収納」、そして「ワーク」に至るまで、現代の多様なライフスタイルに応え、統合された物語（ナラティブ）を描き出します。



DOHENY Giampiero Tagliaferri



PASSARELLA Marcio Kogan / Studio MK27

OUTDOOR Collection 2026

自然との対話から暮らしをかたちづくる、アウトドアリビングの新たなパラダイムを提案します。アウトドア空間は、もはや屋内の単なる延長ではありません。それは独自のアイデンティティを持つ自律した領域であり、光や風、植栽といった自然の移ろいと共鳴しながら、時間とともにその表情を深めていきます。卓越した快適さと機能性、研ぎ澄まされた美意識が完璧な均衡を保ち、アウトドアは境界を超えたひとつの「居場所（サンクチュアリ）」となるのです。



SANDY Nendo



ELAS CORD OUTDOOR Marcio Kogan / Studio MK27

ORION OUTDOOR Giampiero Tagliaferri



BLAINE Hannes Peer



BRUTALIST Giampiero Tagliaferri



BÉZIER DINING Marcio Kogan / Studio MK27
GIULIETTA Inoda+Sveje



ORION Giampiero Tagliaferri



ORION Giampiero Tagliaferri



ORION Giampiero Tagliaferri



RUFFLE GamFratesi



LILLIAM Hannes Peer



ELAS Marcio Kogan / Studio MK27